

## 八王子市由井市民センターみなみ野図書館を含めた市民センター図書館、市民センター図書室について

2020.7.12.更新 鈴木真佐世

### ①2020.7.7.1までに、ネット経由、みなみ野図書館の職員に聞いて判明したこと

- 1 八王子市立図書館には図書館の一部である地域館8館とその別に指定管理者が管理している市民センターや集会所に併設の地区図書室13館がある。
- 2 八王子市教育統計2020によると「八王子市中央図書館みなみ野分室」は2014年度までは地区図書室で、他の地区図書室と同じように、私立図書館から配本を受けていた。
- 3 2015年に地域図書館「由井市民センターみなみ野図書館」になった。

八王子市中央図書館みなみ野分室について（みなみ野三丁目町会のホームページのお知らせのページより）

平成27年10月1日から、由井市民センターみなみ野分館内に「中央図書館みなみ野分室」がオープンします。  
今までご利用いただいていた由井市民センターみなみ野分館地区図書室が中央図書館の分室として生まれ変わります。

#### 1. 中央図書館みなみ野分室

場所：由井市民センターみなみ野分館内

住所：〒192-0916 八王子市みなみ野一丁目7-1片柳学園第3学生会館 2階

中央図書館みなみ野分室は

- ・地域住民の皆さんと協力して運営します。
- ・市内図書館の共通カードで利用できます。
- ・市内図書館の図書や雑誌、視聴覚資料などを検索・予約して取り寄せることもできます。
- ・開館時間 午前10時から午後5時
- ・休館日 毎月第2・4月曜日（祝休日の場合は開館） ・12月29日から翌月1月4日

#### 4 みなみ野図書館について職員に電話で訊いたこと

地域の皆さんと協力して運営というのはどういうことか⇒、図書館の職員の司書と窓口を担当する「住民協議会」が雇う担当者として回している。

住民協議会が雇っている窓口担当者の給料はどかが負担しているのか？⇒市立図書館が負担している。

所蔵冊数は？⇒17000冊くらいで、その他の地域館については、八王子教育統計に蔵書数などが載っている

#### 5 地区図書室についての確認⇒どこも週に2~3日、1日に2時間くらいの開館、市立図書館とはシステム上つながって

おらず、予約は予約表を書いて図書室に提出し、図書館から図書室に資料が届いて、受け取るという手順になる。

#### 6 教育統計によると、市立図書館から各図書室に1万から2万冊くらいの配本をしている。

（これに対して、市民センター図書館などの地域館は市立図書館の一環のため、システムもすべての図書館で共通）

### ②7月8日に八王子市立図書館の担当者に電話をして

#### みなみ野図書館とその他の地域図書館、地区図書室についてわかった事

元々各市民センターに地区協議会があり、地区協議会が運営する地区図書室がある。その中で利用者ニーズが高く、貸出件数が多い図書室の図書館化を進めてきた。それまで運営してきた地区協議会の存在を無視できないので、図書館化にあたって、窓口業務は、協議会の中の図書部に業務委託、それ以外の専門的な業務には図書館が司書を配置し、協力し合って運営。図書部は、10数名の部員がいて、午前3+午後3というような感じにローテーションを組んでやっている。近所の住民が窓口業務をすることに、利用者から借りる本について知られてしまうというようなクレームがないかも尋ねましたが、守秘義務について業務委託契約を交わしているので問題はないと思うとのこと。現在は、市民センター図書館は5館に増えた。今後も増やす方向で検討。

市民センターは財団が運営しているが、その図書室は地区協議会の図書部が運営している。

### ◎みなみ野図書館で調べていただきたいこと

- ・地区協議会、図書部の実態、どのように運営されていて、図書部に属するという窓口業務を担当している人たちのことを窓口に入っている方に直接聴いていただければいいかと思えます。

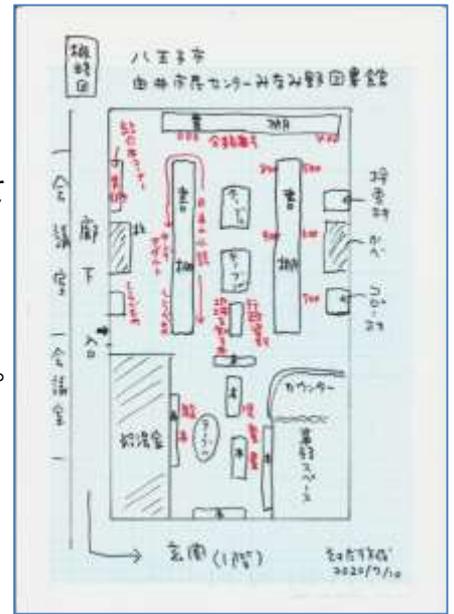
- ・ 1人だけ、窓口業務はせずに、その他の専門の業務をしている司書の方(図書館の職員)にも、具体的にどんなことをしていられるかを訊いてください。

### ③7月10日に藺田さんがみなみ野図書館を視察してのレポート(藺田さん)

駅から5分ぐらい、入り口がちょっとわかりにくいのですが、便利なところ。学生会館の2階のフロアを市が借りて由井市民センターにしている、その中心部に「みなみ野図書館」があります。10m×20mぐらいの矩形の部屋、入って左側が一般図書、右手が児童書のコーナー、その奥にカウンターと事務スペースがあります。(見取り図参照)

平日お昼前の時間でしたが、5、6人が出たり入ったり、空っぽにはなりません。高齢の男性、ご婦人、若い人も来ていました。読書用のテーブルは2つありますが、落ち着いて本を読む人は少ないようで、借りたり返したりしてました。子どものコーナーには私の居た時間には来訪者はありませんでした。

普段ですと1日300人ぐらいの利用があるそうですが、コロナ禍で閉じて再開して今は1日120人ぐらいだそうです。、蔵書は17000冊、そのうち6000冊が貸し出しに回っているそうです。



スタッフは市の図書館所属の司書(有資格者で非常勤)が常時1名(2~3名いて交代で来るようです)、運営に参加している地区協議会図書部のスタッフが2~3人、窓口には詰めています。

司書は地域のスタッフの指導役と図書館全体の行事の処理などが仕事。レファレンスは普通のことは地域スタッフがやり(それなりの研修を受けているとのこと)専門的な話になれば司書が対応するとのことでした。

今日はちょうど地域側の運営責任者のKさんが来ていて(彼女と市民センターの館長が「運営」役とのことで、施設の管理について市から委託を受けて経費の処理もしているそうです)、いろいろ話が聞けました。

市民センターごとにある地区協議会内に図書部が置かれていて、Kさんと部員13名(5年前の開始時は16人いたが3人辞めた)で、ローテーションを組んで働いている。一人当たりでは週に2~3回の勤務。それぐらいの仕事がちょうどいいという人がやっている。始めの募集には70人も応募があったそうです。

図書館員と地区協議会スタッフとの協働はうまく行っているように見えました(内情は分かりませんが)。初回なのであんまり突っ込んで聞けませんでした。今後とも連絡を取り、さらに細かい話を聴かせてもらうという了解は取りました。Kさんの連絡先も伺いました。図書館問題に関心を持っている町田の一市民のそのだと名乗っています。(町田市レクリエーション連盟理事長の名刺を渡しました。)

いろいろなチラシが置かれていて面白く読みました。図書館報の『らいぶらりい』最新号には2020年から「第4次読書のまち八王子推進計画」がスタートすることが紹介され、すべての世代への切れ目ない読書活動支援とか利用者目線での読書環境整備とか、図書館司書の専門性向上などが謳われています。図書の返却場所が増えて、駅の自由通路とか名店街とか医療センターでもできるようになったとのこと。八王子ではすべての郵便局に郵便ポストだけでなくブックポストもあるんですね。町田は？

図書館運営への市民参画というのは議論のあるところかと思いますが、しかし八王子の場合は、その土台に「読書のまち八王子推進計画」がしっかり置かれていて(八王子市教育振興基本計画の13の柱の1つになっている)、図書館ももとの中央館—地域館4館から、市民センターの図書室を専門職付きの「市民センター図書館」に格上げする作戦を進め、みなみ野をはじめ5館が誕生しています。その文脈の中での市民参画であることに留意する必要があります。あると思いました。

町田のように図書館切り下げ政策の中で、市民への肩代わりを強いるような市民参画とはわけが違うということです。

④7月11日に手嶋さんと藺田さんとで由木東市民センター図書室(地区図書室)を視察してのレポート(手嶋さん)

7月11日の午後、藺田先生と多摩モノレールの松が谷駅近くの由木東市民センター地区図書室を見学してきました。思っていたよりもスペースは広く、蔵書は約2万冊ということでした。(鶴川図書館の蔵書冊数は、48,215冊)「令和元年度(2019年度)はちおうじの教育統計」によると、地区図書室への配本(団体貸出)状況の由木東市民センター図書室には18,583冊配本していますが、図書館からの配本以外にも独自に所蔵しているものがあるとのことでした。市の図書館から配本されているものは、図書館のバーコードが貼ってあるので、直ぐに分かります。(由木東のラベルも貼ってあります。)バーコードがないものは、由木東市民センター地区図書室の蔵書だそうです。

写真撮影について確認したところ、たらい回しにされた挙句、断られました。書架配置のメモを取ってききましたので、再現したものを以下に添付します。

地区図書室に配本以外に市から補助が出ているかについては、質問しましたが、分からないということなので、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団に直接確認してみます。  
⇒八王子市の2018年度決算書によれば、市の図書館費の中から地区図書室図書購入費として2,105,461円支出しています。(鈴木コメント)

由木東市民センター図書室の書架配置図

